

前アルカーイダ司令官：ISIS やアルカーイダは CIA や西側 情報局に完全に支配されている

【訳者注】すべてのからくりを見抜いていた、前アルカーイダ司令官、つまりテロリスト・ネットワークの内部にいた高官による、これは貴重な証言である。これが発表されたのは1年8か月も前のことだから、今、多少の変化はあっても、テロリスト総司令部 CIA の究極の狙いは変わっていないだろう。それは中東の「不安定化」、単に破壊と混乱と殺戮をもたらすこと（誰が誰を殺してもよい）、そしてその上での中東の **Balkanization**（喧嘩ばかりする多くの弱小ミニ国家に分割すること）のようである。

Brandon Turbeville

Activist Post, July 30, 2014



アルカーイダ、ISIS、それにアルヌスラ・フロントのようなテロリスト組織は、CIA や他の西側情報局に完全にコントロールされているという更なる証拠が、公的記録のファイルに加わった。

http://www.amazon.com/Subverting-Syria-Contra-Manufacture-Mislabel/dp/1615775579/ref=as_sl_pd_tf_sw?&linkCode=ws&tag=permacultucom-20

「イスラム民主主義ジハード党」の創始者であり、前アルカーイダ司令官の Nabil Na'eem によれば、実は、現在のアルカーイダ系統のすべての組織は、全体をコントロールする CIA テロ活動の生み出したもの以外の何ものでもない。彼はまた、これらのグループは、最後に

はサウジアラビアに差し向けられるだろう——サウジが何年間も続けて彼らの給料を払い、便宜を図ってきたにもかかわらず——と主張した。

ナイームがこれを述べたのは、中東諸国向けに報道している、バイルートのニュース局 al-Maydeen とのインタビューの中でのことだった。このインタビューは [Syria News](#) の Arabi Souri によって翻訳された。

<http://www.syrianews.cc/isis-the-bombshell-interview-to-impeach-obama/>

<http://www.syrianews.cc/>

<https://youtu.be/NEuJ5v3AbJg> (ビデオ「オバマ政権のアルカーイダ支援を暴露する」)

ナイームは最初に、「新しいアメリカの世紀プロジェクト」、それに中東を分割し、国境線を引き直し、つまらない喧嘩をする弱小な“ミニ国家”や“マイクロ国家”からなる地域を作るという「バーナード・ルイス計画」に言及した。

http://www.rightweb.irc-online.org/profile/project_for_the_new_american_century

[http://www.amazon.com/The-Grand-Chessboard-Geostrategic-](http://www.amazon.com/The-Grand-Chessboard-Geostrategic-Imperatives/dp/0465027261/ref=as_sl_pd_tf_sw?&linkCode=ws&tag=permacultucom-20)

[Imperatives/dp/0465027261/ref=as_sl_pd_tf_sw?&linkCode=ws&tag=permacultucom-20](http://www.amazon.com/The-Grand-Chessboard-Geostrategic-Imperatives/dp/0465027261/ref=as_sl_pd_tf_sw?&linkCode=ws&tag=permacultucom-20)

http://www.larouchepub.com/eiw/public/1992/eirv19n43-19921030/eirv19n43-19921030_026-new_bernard_lewis_plan_will_carv.pdf

ナビール・ナイーム：“第4世代戦争”を始めたバーナード・ルイスはこう言っています——「我々は、ナショナリズムの目を覚まさせるような、大陸全体に及ぶ軍隊を置く必要はない。要は彼らが、アフガニスタンやベトナムで起こったように、団体として我々に寄ってくるようにすることだ。しかし我々はその（狙った）国家の内部にスパイを置く必要がある。その者が兵士の働きをするのだ。それと人民に対して真実を偽るメディアと、それにかかるカネが必要だ。」

これが“第4世代戦争”で、兵士の代わりにスパイを使うのです。

インタビュアー：それが代替軍隊で、代理による戦争になるのですか？

ナイーム：もちろんそうです。

インタ：誰と誰の戦争ですか？ 我々は地上軍、アルカーイダや、そこから派生した軍団のことを話しているのですが、これらの軍団はどんな戦争のために、誰と誰の戦争を

戦っているのですか？

ナイーム：アメリカの情報局（CIA）のための戦争ですよ。

インタ：戦う相手は？

ナイーム：そこの政権です。彼らは 1998 年に Clean Break (PNAC) と呼ばれる計画を立てました。・・・

インタビュアーは、さらにナイームに質問して、ISIS のような集団は、本当は誰と戦っているのかと尋ね、イラクの首相ヌーリ・アルマリキのような標的に言及した。ナイームはそれに対してこう答えた、「それはスンニ派ともシーア派とも戦っています。彼らが Sammerra に入ったとき、アンバル族の長であるシェイク・アリ・ハティミは言いました——「ISIS はサメラに入ってきて、平然と 1 千人のスンニ派を殺した・・・それからシーア派を殺し、キリスト教徒を殺し、誰でも出くわす者を殺した。ISIS はすべての人々を不信仰者と考えており、彼らの血はタダなのだ。」

ナイームは、かなりの時間を費やして、ISIS、ヌスラ、その他の殺し屋集団や、ジハーディスト組織の、馬鹿げた論理を説明しようとしたが、最も強力な情報が明らかになったのは、彼がこれらの集団の統制の構造と、指令の性格について語ったときだった。

例えば、バシヤール・アサドとの戦いを司令する「ムスリム同胞団」(Muslim Brotherhood) の長 Issam Hattito は、どこにいますか？ ベイルート？ リヤド？ それともカイロ？ 彼はテルアビブにいます。

Ahmad Jarba、彼はリヤドにいますか？ カイロ？ あるいはテヘランにいますか？ 彼はニューヨーク、パリ、ロンドンの間を行き来して、費用を払ってくれる雇い主のもとにいます。・・・

オバマが、ISIS やヌスラ・フロントを、アメリカやトルコの武器で武装させていることが暴露されたとき、彼はこう言いました、「彼らを武装させるのはもうやめる。なぜならアメリカの武器がヌスラへ流れているからだ。」オバマはそう言ったでしょう？

流れた？！ お前さん、2 年も戦争していて、今そんなことに気づいたのか？

ヌスラ・フロントの兵力は 1 万です。ISIS の兵力はさらに 1 万で、合わせて 2 万の兵

士たちがアメリカの武器を使っています。そしてオバマは2年も経って、彼の（アメリカの）武器が彼らに流れていることを発見したと言う？！ あなたは我々が馬鹿だと思っているのか？

これはこの地方に対する陰謀です。そしてさっきあなたに言ったように、ネタニヤフとディック・チェイニーが、1998年に Clean Break 計画を立てて、これが4つの国家を破壊しつつあります。彼らはイラクから始めて、シリア、エジプト、それからサウジアラビアに手を出すでしょう。それは Clean Break (PNAC) と呼ばれて、よく知られている。その地方の過激派グループを利用する方法です。（記者：Clean Break は「きっぱり別れる」の意、戦略的政権交代）

．．．．(数十行省略)．．．．

この長い供述の中で、ナイームは沢山の深刻な問題に気づかせた。第一に、中東の世俗（非宗教的）政府に対して戦っている、殺し屋軍団やジハード組織の多くのリーダーは、実は、テルアビブ、ニューヨーク、パリ、ロンドンのような所に住み、そこから命令を出しているということ。実際、ナイームは、これらのリーダーは、彼らが敵として戦うことを誓った国々に、快適に生活していると指摘している。これらの司令官は、攻撃や作戦や殺人の命令を出しているが、それぞれの国の情報局は、何もせず傍に坐って、彼らを止めようと指一本あげることもない。

http://www.amazon.com/11-Synthetic-Terror-Made-USA/dp/1615771115/ref=as_sl_pd_tf_sw?&linkCode=ws&tag=permacultucom-20

第二に、ナイームは、「ムスリム同胞団」は、この地方で活動している他のテロ組織と深く結びついた、もう一つの西側にコントロールされた集団だ、と強調している。実際、ナイームは、「ムスリム同胞団」は、世界中の殺し屋軍団やテロ組織と連携して仕事をしているだけでなく、指導者として命令しながら、自らの命令は、西側情報局から直接受けていると指摘している。

第三に、ナイームは、中東のバルカン化（弱小国への分割）計画が、少なくとも1998年以来存在しているだけでなく、この地方全体と、実に世界中において、殺し屋軍団の資金援助と訓練に最も積極的だった国の一つ、サウジアラビアの究極の破壊を目論んでいる、と指摘している。

この点について、サウジアラビアの将来を問われると、彼はこう答えた。

「ムスリム同胞団」がエジプトを支配する基礎を固めたとき、サウジで2016年に、また湾岸諸国全体で、問題が起こり始めることになっている。これは私が言うのではなく、アラブ首長国連邦の国家安全保障のヘッド Dhahi Khalfan が言ったことです。彼はそれを白状した者たちを逮捕しました。

Khalfan はどこから、そんなことを聞いたのか？ 彼らは、次のように詳しく白状した細胞たちを逮捕しました——もし「ムスリム同胞団」がエジプトに定着すれば、彼らは、そこに存在する細胞を通じて、問題を湾岸諸国に輸出し始めるだろう、そして湾岸の安全保障を不安定化するだろう。これは UAE の国家安全保障のヘッド Khalfan の言ったことで、私ではありません。

[・・・]

いいですか、彼らの中には *The Rule of Al Saud* (サウド王家の支配) という本があって、これがロンドンに出回っています。この本では、サウド王族は Kuffar (不信仰者) だと言っており、不正を働く者たちで、サウジの人民からカネを盗んでいると言っている。不信仰者は神の命令によって支配することはできない。彼らはシャーリアの法を弱者だけに適用し、強い者や王子たちには適用されない。これは外国にいるサウジの若者たちに、サウジ政府に戦争を仕掛けよと教える本です。またこうも言っている——我々はこの王国が立憲王制になることを要求する。つまりイギリスの女王のように、王が政治を行うのではない。そしてこの方向はアメリカでもイギリスでも支持されていて、この運動をやっている連中はロンドンに住んでいます。ロンドンにはスパイの巣窟で、世界中のスパイがそこにいます。

彼らの目標は、イスラエルの安全保障を確保するために、この地域を分割することです。

イスラエルは、ついでに言うと、弱い、軽蔑すべき国です、地政学的な。イスラエルは国家ではありません、カタールみたいに。カタールは国家ですか？ カタールは単にテントがあって、そこに人がカネを握って坐っている——それだけの国です。

イランとか、サウジ、エジプトのような国があります。地理的にはそれは世の終わりまで存在します。それから“サタンの灌木”(引き抜かれるべき) と呼ばれる国々があります。それは、どうしてか知らないうちにできているのです——イスラエルやカタールのように。それは一日で消えて、もう見つからない、ということもあるでしょう。だから、イスラエルがその存在を保証されるためには、周囲の存在がすべて切り倒されなければならない。

インタ：サウジ王国に関する問題に戻りたいと思います。あなたは、そのようなイデオロギーに基づいて、今計画されていることに言及されました。あなたは私よりよくご存じで、経験もあり、いろんな例や証拠のことも言われました。ですが、どうやって彼らは（サウジに）入るのですか？ 入るために依存しなければならない条件は何ですか？

ナイーム：私が言っているのは、彼らが支配家族に対して革命を準備しているということ、それが腐敗した一族であること、この家族はサウジ人民からカネを盗んでいるということ、家族のルーツのことばかり言っているということです。

インタ：王国の内部から崩れるということですか？

ナイーム：王国の内部からです。王国の内部には強力な **Takfiri** 派のメンバーがいる。なぜそれを言うかということ、ワッハビ（王室派）とタクフィリのイデオロギーの違いなどというものは、髪の毛一本ほどしかなく、だからこのイデオロギー（タクフィリ）に従う若者はいくらでもいます。そこへ、王国とその政府と支配家族のひどい情報をもつてくれば、ちょっとしたことで彼らが吹っ飛ぶ可能性があります。

インタ：それだけの根拠しかないのですね。我々は、ISIS の各集団は、湾岸諸国から来ているという重要な事実を無視してはならないと思います。そして湾岸諸国の政府は、彼らを募集して、シリアやその他、イラクのようないろんな国に送り込んで戦わせることに、関心がなくなったという噂があります。確かにこういう報告によれば、王国の中でそんな募集をしても無駄ではないですか——王国の内部で動くというのは？

ナイーム：その通りです。ほとんどがサウジの人民で、動向はそのようなものです。しかし彼ら（西側情報局）は、「ムスリム同胞団」政府がエジプトで権力を握って、定着することを望んでいます。これが、サウジのアブダラ王が（エジプトの）7月30日の革命を支持した理由で、彼は、この地方で起こると言われることの情報に基づいてそうしたのです。

なぜ彼は、「ムスリム同胞団」に反対の立場を取るのか？ サウジはいつも「同胞団」を国内に抱えていて、もし「同胞団」がカネを作るとすれば、それはサウジからでした。世界のすべてのタクフィリ派の父である **Muhammad Qotb** は、サウジで生涯の40年間を過ごした人ですが、彼は *The Ignorance in the Twentieth Century*（20世紀における無知）という本を書き、我々は、預言者 PBUH の時代よりもひどい無知の状態で生きてると主張しています。サウジは彼を招いて、大学で教えさせています。彼らは

なぜ「同胞団」に反対するようになったのか？

それは「ムスリム同胞団」が、宗教も持たず、国家も持たず、安全な場所もなく、彼らは誰をでも裏切るからです。

明らかに、ナイームは、現在中東において、国民国家の存在が、ISIS、アルカーイダ、その他の友好集団の配備によって、根底から脅かされていると確信しているだけではない。彼は自分自ら、緊急の課題は 国家そのものを、上にあげたような西側に援助された集団の手から、救い出すことだと示唆さえしている――

私が言いたいことは、スンニ、シーアを問わず、すべてのイスラム諸国のなすべきことは、団結して、これらの集団を根絶することだということです。なぜなら、これらの集団はこの地方の植民地主義の手先だからで、宗教に基づいてものではありません。ISISのメンバーには祈らない者たちがいます。アルカーイダも同じです。一度も跪いて祈ったことのない者たちがいました。こうした集団を、安全対策や知恵を働かせて、国家同士が団結して組織的に根絶し、彼らのイデオロギーの間違いを証明しなければなりません。

ナイームが、アルカーイダやその友好集団について、彼の言っている目標に、どれほど関わっているのかは不明だが、彼が以前しばらくの間、この組織のネットワークの内部にあって、それが CIA や他の西側情報局の代理軍隊にすぎないと理解しながら、活動することが可能だったことは明らかである。今、西側一般人に絶対に必要なことは、この同じ証拠をよく調べて、そこから引き出される唯一の論理的な結論に到達すること――アルカーイダ、アルヌスラ、ISIS、そしてすべての同類のテロ組織が、CIA のアラブ部隊以外の何ものでもないことに気づくことである。